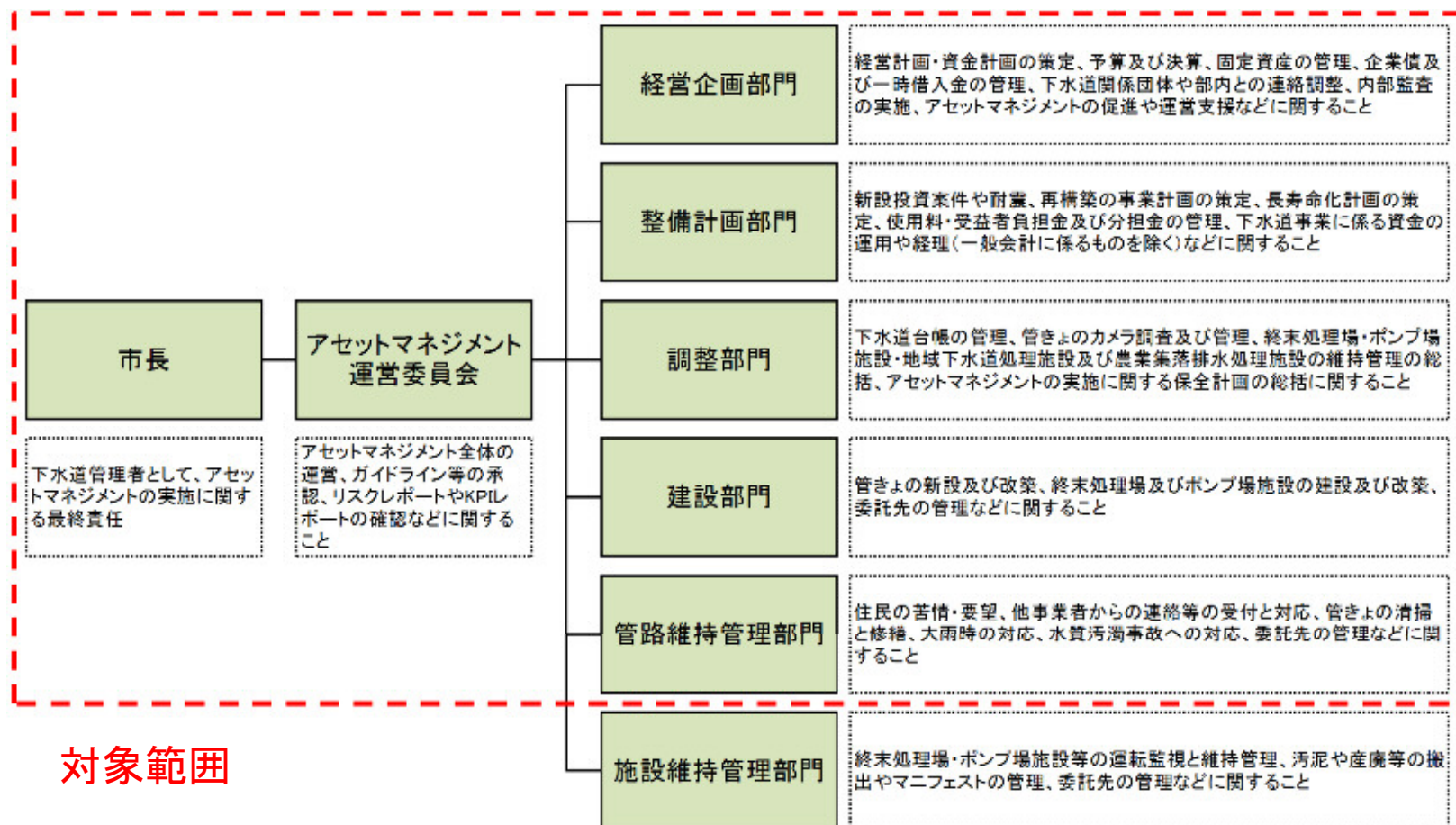


# 第1回ギャップ分析中間報告総括

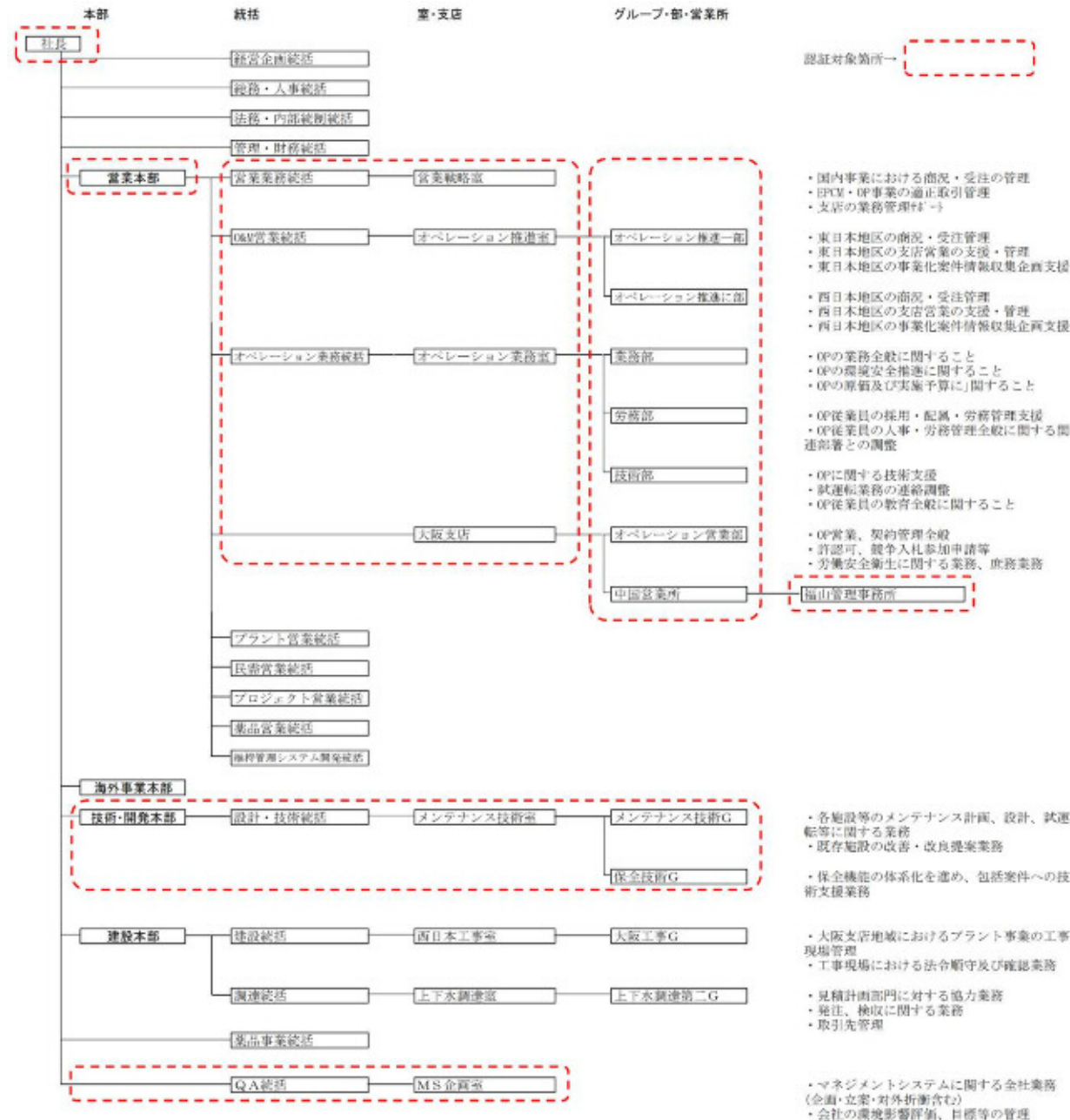
---



# 組織の権限と役割とISO55001要求事項マトリックス(仙台市)

ISO55001の中核要素ごとの規格要求事項番号リスト			部門名											
ISO55001 中核要素 key elements	ISO55001 要求事項 項番	重 複	施設維持 管理部門	管路維持 管理部門	建設部門	調整部門	整備計画 部門	経営企画 部門	AM 運営委 員会	市長				
0. 利害関係者と組織の状況 Stakeholder and organization context 1. 組織計画と組織目標 Organization plans and organizational objectives	4.1 組織及びその状況の理解		○	○	○	○	○	○	○					
	4.2 利害関係者のニーズ及び期待の理解		○	○	○	○	○	○	○					
	5.1 リーダーシップとコミットメント								○	○				
	5.3 組織の役割、責任、権限								○	○	○			
2. アセットマネジメント方針 Asset management policy	5.2 方針							○	○	○				
3. 戦略的アセットマネジメント計画 (SAMP) とアセットマネジメント目標 Strategic asset management plan Asset management objective	4.3 アセットマネジメントシステムの適用範囲の決定						○	○	○	○				
	6.2.1 AM の目標		○	○	○	○	○	○	○					
4. アセットマネジメント計画 Asset management plans	6.2.2 アセットマネジメントのための計画策定		○	○	○	○	○	○						
	8.3 アウトソーシング (scope)	✓	○	○	○									
5. アセットマネジメント計画の改善 (ライフサイクル活動) Improvement of asset management plans (Life cycle activities)	8.1 運営計画策定と管理		○	○	○		○							
	8.3 アウトソーシング (control)	✓	○	○	○									
	8.2 変化のマネジメント	✓	○	○	○	○	○	○						
6. パフォーマンス評価と改善 Performance evaluation and improvement	8.2 変化のマネジメント	✓	○	○	○	○	○	○						
	9.1 モニタリング、計測、解析と評価		○	○	○	○	○	○						
	9.2 内部監査							○						
	9.3 マネジメントレビュー							○	○	○				
7. アセットマネジメントシステム開発の計画+関連報告 Plans for developing asset management + relevant report	10 改善		○	○	○	○	○	○						
	4.4 アセットマネジメントシステム							○	○					
8. アセットマネジメントシステム+関連支援要素 Asset management system + Relevant report elements	6.1 AMS のためのリスクと機会を扱う行動		○	○	○	○	○	○						
	7.1 資源		○	○	○	○	○	○						
	7.2 力量		○	○	○	○	○	○						
	7.3 自覚 (意識)		○	○	○	○	○	○						
	7.4 コミュニケーション		○	○	○	○	○	○						
	7.5 情報の要求		○	○	○	○	○	○						
7.6 文書化された情報		○	○	○	○	○	○							

# 組織の施行認証対象範囲(水ing)



# 組織の権限と役割とISO55001要求事項マトリックス(水ing)

ISO55001の中核要素ごとの規格要求事項番号リスト			部門名									
ISO55001 中核要素 key elements	ISO55001 要求事項 番号	重 複	福山管理 事務所	和歌山 会議室	和歌山 推進室	大阪支店	中国営業 所	和歌山技 術室	MS企画 室	営業本部 長	技術・開発 本部長	社長
0. 利害関係者と組織の状況 Stakeholder and organization context 1. 組織計画と組織目標 Organizational plans and organizational objectives	4.1 組織及びその状況の把握				○				○	○	○	
	4.2 利害関係者のニーズ及び期待の把握		○	○			○					
	5.1 リーダーシップとコミットメント									○	○	○
	5.3 組織の役割、責任、権限			○					○	○	○	○
2. アセットマネジメント方針 Asset Management policy	5.2 方針			○						○	○	○
3. 戦略的アセットマネジメント計画 (SWP) とアセットマネジメント目標 Strategic asset management plan Asset management objective	4.3 アセットマネジメントシステムの適用範囲の決定									○	○	○
	6.2.1 AM の目標									○	○	
4. アセットマネジメント計画 Asset management plans	6.2.2 アセットマネジメントのための計画策定		○	○	○		○	○				
	8.3 アウトソーシング (scope)	✓	○			○	○	○				
5. アセットマネジメント計画の改善 (ライフサイクル活動) Improvement of asset management plans (life cycle activities)	8.1 運営計画策定と管理		○	○	○		○					
	8.3 アウトソーシング (control)	✓	○			○	○	○				
	8.2 変化のマネジメント	✓	○		○		○	○				
6. パフォーマンス評価と改善 Performance evaluation and improvement	8.2 変化のマネジメント	✓	○		○		○	○				
	9.1 モニタリング、計測、解析と評価			○					○			
	9.2 内部監査								○			
	9.3 マネジメントレビュー			○					○			○
7. アセットマネジメントシステム開発の計画+関連報告 Plans for developing asset management + relevant report	10 改善		○	○				○				
	4.4 アセットマネジメントシステム				○				○	○	○	
8. アセットマネジメントシステム+関連支援要素 Asset management system + Relevant report elements	6.1 ANS のためのリスクと機会を扱う行動		○	○								
	7.1 資源		○	○		○	○					
	7.2 力量		○	○	○	○	○	○	○			
	7.3 意識 (意欲)		○	○	○	○	○	○	○			
	7.4 コミュニケーション		○	○	○	○	○	○	○			
	7.5 情報の要求		○	○	○	○	○	○	○			
	7.6 文書化された情報		○	○	○	○	○	○	○			



# 第1回ギャップ分析結果(文書レビュー結果)1/2

中核要素	項番	ISO55001要求事項 要求事項	対応状況 (文書レビュー結果)		
			仙台市	水King	
0.利害関係者と組織の状況 1.組織計画と組織目標	4.組織の状況				
	4.1 組織及びその状況の理解	組織は、組織の目的に関連し、かつ、そのアセットマネジメントシステム(AMS)の意図した結果を達成する組織の能力に影響を与える、外部及び内部の課題を決定しなければならない。 戦略的アセットマネジメント計画(SAMP)に含まれるアセットマネジメント目標は、組織目標と整合し、一貫性がなければならない。	○	○	
	4.2 利害関係者のニーズ及び期待の理解	組織は、次の事項を決定しなければならない			
		① AMSに関連する利害関係者	△	○	
		② その利害関係者の要求事項と期待	△	○	
		③ AMの意思決定基準	○	○	
	5.1 リーダーシップ及びコミットメント	④ アセットマネジメントに関連する財務的及び非財務的情報に対する利害関係者の要求事項、及びその外部及び内部への報告に対する利害関係者の要求事項	○	○	
		5.リーダーシップ	トップマネジメントは、次に示す事項によって、AMSに関するリーダーシップ及びコミットメントを実証しなければならない。		
		① AMS方針、戦略的アセットマネジメント計画(SAMP)及びAM目標を確立し、それらが組織の戦略的な方向性と両立することを確実にする。	○	△	
		② 組織の事業プロセスへのAMS要求事項の統合を確実にする。	○	○	
		③ AMSに必要な資源が利用可能であることを確実にする。	○	○	
		④ 有効なAM及びAMS要求事項への適合の重要性を伝達する。	○	△	
		⑤ AMSがその意図した成果を達成することを確実にする。	○	△	
		⑥ AMSの有効性に寄与するよう人々を指揮し、支援する。	○	○	
		⑦ 組織内の部門間協力を促進する。	○	○	
		⑧ 継続的改善を促進する。	○	○	
	5.3 組織の役割、責任および権限	⑨ その他の関連する管理層がその責任の領域においてリーダーシップを実証するよう、管理層の役割を支援する。	○	○	
		⑩ アセットマネジメントにおけるリスク管理のためのアプローチは、組織のリスク管理のためのアプローチと整合性がなければならない。	○	△	
		① トップマネジメントは、関連する役割に対して、責任及び権限を割り当て、組織内に伝達することを確実にしなければならない。	△	○	
		トップマネジメントは、次の事項に対して、責任及び権限を割り当てなければならない。			
② a)アセットマネジメント目標を含む、戦略的アセットマネジメント計画(SAMP)を確立し更新する。		検討中	○		
③ b)AMSが戦略的アセットマネジメント計画(SAMP)の展開を支援することを確実にする。		○	検討中		
④ c)AMSが、この規格の要求事項に適合することを確実にする。		検討中	△		
⑤ d)AMSの適切性、妥当性、有効性を確実にする。	検討中	△			
⑥ e)AM計画を確立し更新する。	検討中	検討中			
⑦ f)AMSのパフォーマンスを、トップマネジメントに報告する。	検討中	検討中			

# 第1回ギャップ分析結果(文書レビュー結果)2/2

ISO55001要求事項			対応状況 (文書レビュー結果)	
中核要素	項番	要求事項	仙台市	水ing
2.アセットマネジメント方針	5.2 方針	トップマネジメントは、次の事項を満たすAM方針を確立しなければならない。		
		① 組織の目標に対して適切である。	○	△
		② AM目標設定のための枠組みを示す。	△	△
		③ 適用される要求事項を満たすことへのコミットメントを含む。	△	△
		④ AMSの継続的改善へのコミットメントを含む。	○	△
		AMの方針は、次に示す事項を満たさなければならない。		
		⑤ 組織の計画と整合していなければならない。	○	△
		⑥ 他の関連する組織の方針と整合していなければならない。	○	△
		⑦ 組織のアセットとその運用の性質及び規模に対して適切である。	○	△
		⑧ 文書化された情報として利用可能である。	検討中	検討中
		⑨ 組織内に伝達する。	○	△
⑩ 必要に応じて利害関係者が入手可能である。	検討中	検討中		
⑪ 実施し、定期的にレビューし、必要な場合、更新する。	検討中	検討中		
3.戦略的アセットマネジメント計画(SAMP)とアセットマネジメント目標	4.3 アセットマネジメントシステムの適用範囲の決定	① 組織は、AMSの適用範囲を定めるために、その境界及び適用可能性を決定しなければならない。その適用範囲は戦略的アセットマネジメント計画(SAMP)及びアセットマネジメント方針と一貫性がなければならない。	○	△
		② 4.1に規定する外部及び内部の課題	○	△
		③ 4.2に規定する要求事項	○	△
		④ 他のマネジメントシステムが使用される場合、それとの相互作用	○	○
		⑤ 組織はアセットマネジメントシステムの適用範囲によってカバーされるアセットポートフォリオを定義しなければならない。	検討中	△
		⑥ AMSの適用範囲は、文書化された情報として利用可能な状態にしておかなければならない。	○	△
			○: 対応している	
			△: 一部対応している	

1. AM方針・AM目標・適用範囲は両組織とも明確であるが、戦略的アセットマネジメント計画(SAMP)について、既存資料に当てはめるか、新規に作成するかは、今後のギャップ分析の課題である。

2. 水ingについては、既にISO9001,14001を適用しており、5.リーダーシップに関わる項目は既存の枠組みにて、概ねできている。

# 地方自治体における一般的な下水道事業との対応状況(案) (1/2)

中核要素	項番	ISO55001要求事項		要求事項への対応状況		
		要求事項	下水道ビジョン	備考		
0.利害関係者と組織の状況 1.組織計画と組織目標	4.組織の状況					
	4.1 組織及びその状況の理解	組織は、組織の目的に関連し、かつ、そのアセットマネジメントシステム(AMS)の意図した結果を達成する組織の能力に影響を与える、外部及び内部の課題を決定しなければならない。 戦略的アセットマネジメント計画(SAMP)に含まれるアセットマネジメント目標は、組織目標と整合し、一貫性がなければならない。	○	課題を決定していればよい。		
	4.2 利害関係者のニーズ及び期待の理解	組織は、次の事項を決定しなければならない				
		① AMSに関連する利害関係者	△	住民等が明記されていればよい。		
		② その利害関係者の要求事項と期待	△	住民要望等が明記されていればよい。		
		③ AMの意思決定基準	×	目標に対する基準や客観性がよい。		
	4.4	④ アセットマネジメントに関連する財務的及び非財務的情報に対する利害関係者の要求事項、及びその外部及び内部への報告に対する利害関係者の要求事項	×	コミュニケーションプラン等があるとよい。 ※議会報告も該当するか？		
		5.リーダーシップ	トップマネジメントは、次に示す事項によって、AMSに関するリーダーシップ及びコミットメントを実証しなければならない。			
	5.1 リーダーシップ及びコミットメント	① AMS方針、戦略的アセットマネジメント計画(SAMP)及びAM目標を確立し、それらが組織の戦略的な方向性と両立することを確実にする。	△	両立することが確認できればよい。		
		② 組織の事業プロセスへのAMS要求事項の統合を確実にする。	△	通常業務との乖離をなくす。		
		③ AMSに必要な資源が利用可能であることを確実にする。	△	予算、人員の確保		
		④ 有効なAM及びAMS要求事項への適合の重要性を伝える。	×	十分な教育訓練		
		⑤ AMSがその意図した成果を達成することを確実にする。	×	目標達成のための組織体制の整備		
		⑥ AMSの有効性に寄与するよう人々を指揮し、支援する。	×	教育体制の充実		
		⑦ 組織内の部門間協力を促進する。	×	部門間協力を位置付ける。		
		⑧ 継続的改善を促進する。	△	定期的見直しを位置付けていければよい。 PDCAサイクル、指標の監視		
		⑨ その他の関連する管理層がその責任の領域においてリーダーシップを実証するよう、管理層の役割を支援する。	○	組織の運用改善等が位置付けられている。		
		⑩ アセットマネジメントにおけるリスク管理のためのアプローチは、組織のリスク管理のためのアプローチと整合性がなければならない。	×	リスクマネジメントの導入・実施		
	5.3 組織の役割、責任および権限	① トップマネジメントは、関連する役割に対して、責任及び権限を割り当て、組織内に伝達することを確実にしなければならない。	×	マニュアル等の作成が必要		
		トップマネジメントは、次の事項に対して、責任及び権限を割り当てなければならない。				
② a)アセットマネジメント目標を含む、戦略的アセットマネジメント計画(SAMP)を確立し更新する。		×	マニュアル等の作成が必要			
③ b)AMSが戦略的アセットマネジメント計画(SAMP)の展開を支援することを確実にする。		×	マニュアル等の作成が必要			
④ c)AMSが、この規格の要求事項に適合することを確実にする。		×	マニュアル等の作成が必要			
⑤ d)AMSの適切性、妥当性、有効性を確実にする。		×	マニュアル等の作成が必要			
⑥ e)AM計画を確立し更新する。		×	マニュアル等の作成が必要			
⑦ f)AMSのパフォーマンスを、トップマネジメントに報告する。	×	マニュアル等の作成が必要				

○：対応している

△：一部対応している場合がある

×：対応していない



ISO55001 要求事項			要求事項への対応状況	
中核要素	項番	要求事項	下水道ビジョン	備考
2.アセットマネジメント方針	5.2 方針	トップマネジメントは、次の事項を満たすAM方針を確立しなければならない。		
		① 組織の目標に対して適切である。	○	AM方針が組織目標に基づいている。
		② AM目標設定のための枠組みを示す。	○	目標設定の対象分野を示す。
		③ 適用される要求事項を満たすことへのコミットメントを含む。	×	従うべき規格(ISO55001)を明示する。
		④ AMSの継続的改善へのコミットメントを含む。	×	AMS活動を位置付ける。
		AMの方針は、次に示す事項を満たさなければならない。		
		⑤ 組織の計画と整合していなければならない。	○	AM方針が組織計画と整合している。
		⑥ 他の関連する組織の方針と整合していなければならない。	△	自治体全体方針と下水道AM方針の整合
		⑦ 組織のアセットとその運用の性質及び規模に対して適切である。	○	財政等を踏まえた方針である。
		⑧ 文書化された情報として利用可能である。	○	文書化されている。
		⑨ 組織内に伝達する。	○	教育等による周知を位置付ける。
⑩ 必要に応じて利害関係者が入手可能である。	○	利害関係者への公開。		
		⑪ 実施し、定期的にレビューし、必要な場合、更新する。	△	レビューが位置付けられていればよい。 ※頻度は問わない。
3.戦略的アセットマネジメント計画(SAMP)とアセットマネジメント目標	4.3 アセットマネジメントシステムの適用範囲の決定	① 組織は、AMSの適用範囲を定めるために、その境界及び適用可能性を決定しなければならない。その適用範囲は戦略的アセットマネジメント計画(SAMP)及びアセットマネジメント方針と一貫性がなければならない。	△	一貫性が確認できればよい。
		② 4.1に規定する外部及び内部の課題	△	課題が明記されていればよい。
		③ 4.2に規定する要求事項	△	要求事項が明記されていればよい。
		④ 他のマネジメントシステムが使用される場合、それとの相互作用	-	ISO9001等を適用していない場合、対象外
		⑤ 組織はアセットマネジメントシステムの適用範囲によってカバーされるアセットポートフォリオを定義しなければならない。	×	施設、管路台帳等で、対象アセットの一覧が取りまとめられていればよい。
		⑥ AMSの適用範囲は、文書化された情報として利用可能な状態にしておかななければならない。	△	AM方針か、SAMPで定義する。
			○: 対応している	
			△: 一部対応している場合がある	
			×: 対応していない	

(今回対象範囲では)  
地方自治体において策定された下水道ビジョンの記載内容が、ISO55001の要求事項の一部に対応しているケースがある。

中核要素	項番	ISO55001 要求事項	各種マネジメントシステムの要求事項への対応状況		
			ISO9001	ISO14001	備考
0.利害関係者と組織の状況 1.組織計画と組織目標	4.組織の状況				
	4.1 組織及びその状況の理解	組織は、組織の目的に関連し、かつ、そのアセットマネジメントシステム(AMS)の意図した結果を達成する組織の能力に影響を与える、外部及び内部の課題を決定しなければならない。 戦略的アセットマネジメント計画(SAMP)に含まれるアセットマネジメント目標は、組織目標と整合し、一貫性がなければならない。	○	○	
	4.2 利害関係者のニーズ及び期待の理解	組織は、次の事項を決定しなければならない			
		① AMSに関連する利害関係者	○	○	
		② その利害関係者の要求事項と期待	○	○	
		③ AMの意思決定基準	×	△	維持管理業務方針等
	5.リーダーシップ	④ アセットマネジメントに関連する財務的及び非財務的情報に対する利害関係者の要求事項、及びその外部及び内部への報告に対する利害関係者の要求事項	×	×	維持管理業務方針等
		トップマネジメントは、次に示す事項によって、AMSに関するリーダーシップ及びコミットメントを実証しなければならない。			
	5.1 リーダーシップ及びコミットメント	① AMS方針、戦略的アセットマネジメント計画(SAMP)及びAM目標を確立し、それらが組織の戦略的な方向性と両立することを確実にする。	△	△	
		② 組織の事業プロセスへのAMS要求事項の統合を確実にする。	×	×	
		③ AMSに必要な資源が利用可能であることを確実にする。	○	○	
		④ 有効なAM及びAMS要求事項への適合の重要性を伝達する。	○	○	
		⑤ AMSがその意図した成果を達成することを確実にする。	○	○	
		⑥ AMSの有効性に寄与するよう人々を指揮し、支援する。	×	○	
		⑦ 組織内の部門間協力を促進する。	○	×	
		⑧ 継続的改善を促進する。	○	○	
		⑨ その他の関連する管理層がその責任の領域においてリーダーシップを実証するよう、管理層の役割を支援する。	○	○	
		⑩ アセットマネジメントにおけるリスク管理のためのアプローチは、組織のリスク管理のためのアプローチと整合性がなければならない。	×	△	
	5.3 組織の役割、責任および権限	① トップマネジメントは、関連する役割に対して、責任及び権限を割り当て、組織内に伝達することを確実にしなければならない。	○	○	
		トップマネジメントは、次の事項に対して、責任及び権限を割り当てなければならない。			
		② a)アセットマネジメント目標を含む、戦略的アセットマネジメント計画(SAMP)を確立し更新する。	×	×	
		③ b)AMSが戦略的アセットマネジメント計画(SAMP)の展開を支援することを確実にする。	×	×	
		④ c)AMSが、この規格の要求事項に適合することを確実にする。	○	○	
⑤ d)AMSの適切性、妥当性、有効性を確実にする。		○	○		
⑥ e)AM計画を確立し更新する。		○	○		
⑦ f)AMSのパフォーマンスを、トップマネジメントに報告する。		○	○		
			○:対応している		
			△:一部対応している		
			×:対応していない		

ISO55001要求事項			各種マネジメントシステムの要求事項への対応状況		
中核要素	項番	要求事項	ISO9001	ISO14001	備考
2.アセットマネジメント方針	5.2 方針	トップマネジメントは、次の事項を満たすAM方針を確立しなければならない。			
		① 組織の目標に対して適切である。	○	○	
		② AM目標設定のための枠組みを示す。	○	○	
		③ 適用される要求事項を満たすことへのコミットメントを含む。	○	○	
		④ AMSの継続的改善へのコミットメントを含む。	○	○	
		AMの方針は、次に示す事項を満たさなければならない。			
		⑤ 組織の計画と整合していなければならない。	×	△	
		⑥ 他の関連する組織の方針と整合していなければならない。	○	○	
		⑦ 組織のアセットとその運用の性質及び規模に対して適切である。	×	×	
		⑧ 文書化された情報として利用可能である。	○	○	
		⑨ 組織内に伝達する。	○	○	
⑩ 必要に応じて利害関係者が入手可能である。	○	○			
⑪ 実施し、定期的に見直し、必要な場合、更新する。	○	○			
3.戦略的アセットマネジメント計画(SAMP)とアセットマネジメント目標	4.3 アセットマネジメントシステムの適用範囲の決定	① 組織は、AMSの適用範囲を定めるために、その境界及び適用可能性を決定しなければならない。その適用範囲は戦略的アセットマネジメント計画(SAMP)及びアセットマネジメント方針と一貫性がなければならない。	○:前半 ×:後半	○:前半 ×:後半	
		② 4.1に規定する外部及び内部の課題	○	○	
		③ 4.2に規定する要求事項	○	○	
		④ 他のマネジメントシステムが使用される場合、それとの相互作用	○	○	
		⑤ 組織はアセットマネジメントシステムの適用範囲によってカバーされるアセットポートフォリオを定義しなければならない。	×	△	対象施設が明確にされていればよい
		⑥ AMSの適用範囲は、文書化された情報として利用可能な状態におかなければならない。	○	○	
			○:対応している		
			△:一部対応している		
			×:対応していない		

(今回対象範囲では)

ISO9001もしくはISO14001を既に適用している場合、マネジメントシステムの根幹に関わる部分での共通項目が多く、ISO55001の導入が比較的容易と考えられる。